

歳を重ねても障がいがあっても暮らせる地域をつくる

産まれた瞬間から、だれでも平等に歳を重ねます。そして、だれでも不自由さを抱える可能性があります。毎日生活しているだけで、さまざまな違和感や疎外感、生きづらさを感じることがあります。

それは、瞬間的なものだったり、ずっと心のどこかにたまり続けるものだったり、時々現れるものだったりさまざまだと思います。

わたしは、高齢者・障がい者・子育て家庭の支援の現場から政治の世界にはいりました。政治は「困りごとをなんとかする」ためにあると思っています。「家の前の道路が暗い・傷んでいる」といったことから、「学校で〇〇〇」「居場所がない」「親・兄弟が〇〇〇」「お金がなくて」など多様な市民の声を直接・間接的に、また長期・短期的に聞いてきました。

あなたがひとりきりのサバイバーにならないように、がんばりすぎなくてもいいように、これからも市民と行政をつなぐ役割を活かします。



暮らしの中での
困りごとなど、
お気軽にご相談
ください



関口江利子
公式サイト

SEKIGUCHI ERIKO
Instagram

Facebook

☎03-3420-0737
世田谷・生活者ネットワークHPからも
お問い合わせいただけます。



せきぐちえりこ

関口江利子

区政レポート 世田谷・生活者ネットワーク 世田谷区議会議員
福祉保健常任委員・子ども・若者施策推進特別委員

関口江利子 プロフィール

- 1974年 広島県呉市生まれ広島市育ち、ヒロシマ被曝2世
 - 1992年 安田女子中学高等学校卒
 - 1998年 成安造形大学 情報デザイン学部卒
 - 就職氷河期にアルバイトから始めた建築事務所デザイナーとして11年活動。万博「愛・地球博」国連館・日本自動車工業会館・日本ガス協会、その他企業歴史館・展示会など多数担当
 - 2014年 介護保険対象外の高齢者へ生活援助ボランティアをはじめる
 - 2016年 生協理事として地域福祉に取組む
 - 2018年 訪問介護従事者として高齢者・障がい者・子育て家庭を支援
 - 2023年 世田谷区議会議員初当選
- 家族は夫と娘(中3)と柴犬

関口江利子
世田谷区議会議員

おのみずさ
世田谷区議会議員

カンパをお願いします

生活者ネットワークの活動は、カンパとボランティアで支えられています。カンパは1口1,000円から、いくらでも、いつでも受け付けています。

【ゆうちょ】銀行

世田谷・生活者ネットワーク
記号) 00110-1-765709
店名) 019 普) 0765709

※政治資金規程法により政治団体への匿名カンパは禁止されています。お振込の際には、ご住所、お名前、ご職業を明記いただくか、別途お知らせいただくようお願いいたします。

3 せたがや生活者ネットワークのルール

- 1 議員は交代制(ローテーション)
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に
- 3 選挙はカンパとボランティアで

世田谷初!

見えなくても自分で書いて投票しよう

病気や事故で後から視覚が不自由になった人の多くは、サポートがあれば文字を書くことができます。選挙投票の支援としては「代理投票(候補者名を代筆してもらう)」と「点字投票」がありますが、点字は打てない人もいますし、代理投票は話したこともないその場の係の人に伝えて代筆してもらうので投票をした感じがしないそうです。そんな中、新聞で取り上げられていた「投票用紙記入補助具」が目にとまりました。早速、世田谷区視力障害者福祉協会へ連絡を取って打ち合わせ、担当所管に訴えましたが渋い反応。ていねいに説明を重ね、議会質問で取り上げたところ、東京都知事選挙から全ての投票所(期日前29、当日114カ所)で導入されることになりました。



世田谷区で初めて導入される「投票用紙記入補助具」

取り残される世田谷区、プラスチックの資源化(分別収集)で気候変動対策を!

今年の夏も異常な暑さです。IPCC気候変動政府間パネルは、人の活動によって排出される温室効果ガスが、猛暑など気候変動の原因だと断定しました。その活動のひとつに「大量生産・大量消費・大量廃棄」があげられます。中でも生分解にとても時間がかかるプラスチック製品は、原材料の石油の採掘から製品化・再処理プロセスにおいて二酸化炭素が排出されています。暮らしにあふれるプラスチックの利用を減らし、かつ資源化することは差し迫る大きな課題で、区民の理解が欠かせません。世田谷区は、「分別収集に多大な経費を要するため、まずはプラスチックごみの発生抑制を推進する」と悠長な姿勢で、分別収集の見直しは立っていません。



ごみの収集を体験

しかし、東京23区では、すでに19区がプラスチックの分別収集をして資源化を実施、令和8年度までに世田谷区を除くすべての特別区で開始します。気候変動の当事者となる子ども・若者へ負の遺産を残さないよう強く求め続けます。



分別しないまま出されたごみ

関口江利子の 議会質問ふり返り

関口江利子がこの1年で取り組んできた主な議会質問です。アーカイブはQRコードからご覧いただけます。



【2023年6月/第2回定例会】

- ① 未成年者のゲームを含むインターネットでのトラブル予防と依存不安の支援
- ② 子どもの交通事故を防ぐ上用賀公園周辺の横断歩道整備
- ③ 区民の参加と協働によるサーキュラーエコノミーの実現に向けて

【2023年9月/第3回定例会】

- ① 障がい者が地域で暮らしながら社会参加するための包括的伴走支援
- ② 保育の質を高めるための保育士の処遇改善

【2023年決算特別委員会】

- ① 取扱品の充実と在宅避難啓発を盛り込んだ防災用品あっせんちらしの改定
- ② 障がいがあっても安心して働ける職場環境づくり
- ③ 高次脳機能障害の相談体制の充実
- ④ 区独自の訪問介護従事者の賃金改善を求める

【2023年11月/第4回定例会】

- ① 香害の啓発強化について
- ② 手話言語条例の活用
- ③ ヤングケアラーの早期発見と子どもを真ん中にした伴走型支援

【2024年2月/第1回定例会】

- ① 災害時における高齢者・障がい児(者)への支援に向けた地域ぐるみの備え
- ② 訪問介護事業者への処遇改善加算をより上位で取得するための支援
- ③ 認可外保育園への安全管理体制の構築

【2024年予算特別委員会】

- ① 視覚に不自由のある人に向けた新庁舎での点字ブロックを活用した音声ナビゲーションの導入
- ② 介護職員初任者研修の受講費用を全額公費負担へ
- ③ 修学途中ですまいるルーム(特別支援教室)の利用を希望した際の半年待ちの状況
- ④ 障がいがあってもなくても、全ての子どもが「共に学び共に育つ」ために一人ひとりの教育ニーズに対応する体制

【2024年6月/第2回定例会】

- ① 区民とともに地域から進める脱炭素社会 ※表面右下記事へ
- ② 学校や新庁舎での香りの配慮
- ③ せたがや未来の平和館の常設展示のリニューアル、参加型特別展等の実施により多くの区民に親しみやすい施設へ
- ④ HPVワクチン男性接種開始にあたり、保護者と本人に対して効果とリスクを判断できる情報の提供を求める

災害関連死を防ぐ在宅避難に備えましょう

ACTION-1 地震などの災害が起きたら「避難行動」

- ① 区や消防署・警察署から避難の呼びかけ、または②自宅が危険だと判断したら速やかに「避難行動」を取る
- ③ 近所の公園や学校などへ逃げて状況を確認する→一時集合所
- ④ 火事などで近所の公園や学校では危険な場合、大規模公園まで離れる→広域避難場所



ACTION-2 避難行動の後、「避難生活」を行う場所へ移動

- 避難所には区民の13%しか入れません。避難所以外で避難生活を送っても、支援物資などを受け取れますので、安心してください。
- 世田谷区の人口約92万人に対して、避難所の定員は12万人ほどです。避難所以外の場所での避難生活に備えることが必要です。
- ⑤ 在宅避難=自宅へ戻る
- ⑥ 縁故避難=友人・知人・親戚宅へ行く
- ⑦ 避難所=区立小・中学校へ行く



ACTION-3 在宅避難生活に備える

在宅避難生活の備えのために、世田谷区では防災用品のあっせんを行っていることをご存知ですか？しかし、23区の中で最低といってもいいほど区民に周知してきませんでした。見づらさや、取扱品の内容を指摘し、あっせんちらしの改定が実現しました。カラー化、在宅避難の周知啓発とけん引式車いす補助装置の掲載、さらに防災倉庫にけん引式車いす補助装置を導入することになりました。「けん引式車いす補助装置」は、高齢者や障がい者の避難の際はもちろん、悪路の荷台代わりにもなります。今後、消防訓練での活用も求めています。災害関連死は過酷な避難所生活の中で起きています。集団生活の中での性犯罪も深刻です。できるだけストレスがない自宅で過ごせるよう準備をしましょう。



リニューアルされた防災用品あっせん案内(ホームページ検索番号28794)

一年間で8回の質問で取り上げました！

だれもが発症する可能性がある!? 香害を知ろう

柔軟仕上げ剤、合成洗剤、消臭スプレー、芳香剤、制汗剤など、主に香りのある製品で起こる健康被害を「香害」と呼んでいます。頭痛・腹痛・せき・倦怠感・皮膚刺激など様々な症状が引き起こされ、発症すると非常に治りにくい。普段からできるだけ原因物質を取り込まないことが重要です。いねいに質問を重ねた結果、化学物質過敏症の中学生が作成した大変わかりやすい啓発ポスターが、区立小・中学校90校のうち88校で校内掲示、2校で手紙などで周知がされました。合わせて学校へ香害や化学物質過敏症へのアンケート調査も行い、自前の給食白衣の使用や保健体育で学習など具体的な取組みが見えてきたので、学校と結果を共有し専用のホームページも作成されました。一方、2024年5月に竣工した新庁舎ではトイレの消臭芳香剤が自動で定期的噴出する装置が置かれており、化学物質を取り込んでしまうことが気になります。改善と、2期・3期棟での配慮を求めています。区民向けには、2024年3月号の消費生活センターだよりで注意喚起もされました。回覧板等でご覧になったかたもいるかもしれません。生活者ネットワークとしては、2023年12月に日本消費者連盟の平賀典子さんをお迎えして区民向けに学習会を行い、大盛況で活発な質疑もされました。香害は、柔軟仕上げ剤を使用した衣類など他人から発せられる香りが原因となるので、人間関係に影響を与え、ひいては不登校や離職など社会生活に大きな支障がでます。発症リスクを下げるため原因を削減していくよう、これからも取り上げていきます。



消費生活センターだより(2024年3月号)



平賀典子さん(右から2番目)との学習会

HPVワクチン男性接種は支援体制が女性と異なります

世田谷区は2024年10月から、男性へのHPVワクチン接種の全額公費負担を実施することになっています。厚生労働省は、ワクチンによる副反応は軽重問わずなくすることは難しく、重度で頻度が低い副反応については、リスク共有の意味からも健康被害救済制度の整備が重要であると示しています。そんな中で始まる男性へのHPVワクチン接種は、定期接種ではなく任意接種です。任意接種の場合、万が一健康被害が起きても、予防接種健康被害救済制度は適応されません。厚労省の予防接種計画では、医療機関と行政は「情報提供の努力義務」、接種する本人や保護者には、「効果とリスクの正しい知識を持った上で自らの意思で接種すること」とあります。区としての努力義務をしっかりと果たすことを強く求め、①区独自のリーフレットを作成すること ②本年4月に開設した予防接種コールセンターの周知強化を行うことになりました。少しでも気になることや心配ごとがありましたら、予防接種全般の相談窓口である「世田谷区予防接種コールセンター」へお問い合わせください。

世田谷区予防接種コールセンター
03-5432-2437